

令和6年度入学試験問題（前期日程）

国語

出題意図及び正答

問題一

出題意図

常用漢字の読み書き、及び国語科の基礎知識として理解習得しておく必要がある用語について問うている。

正答

問一					問二				
1	2	3	4	5	順不同				
うぞうむぞう うぞうもぞう うぞもぞ	つつし	とっぴょうし	いちがん	しば	依頼	塗	福祉	資料	延長

問題二

出題意図

評論を素材として、論理内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することのできる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	略	
問二	示唆	それとなく知らせること。ほのめかすこと。
	苦役	つらく苦しい労働。
問三	略	
問四	略	
問五	略	

問題三

出題意図

小説を素材とし、文学的な表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することのできる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	略
問二	略
問三	略
問四	略
問五	略

問題四

出題意図

古文を素材とし、古典文学の表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することのできる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	略	
問二	略	
問三	②	
問四	(一)	略
	(二)	略
問五	略	

問題五

出題意図

漢文を素材とし、古典文学の表現内容を正確に理解し、それぞれの問いに対して的確に解答することのできる資質・能力を有するかを問うている。

正答

問一	1	郭坦は長男に向かって、「お前は当然自分で食べ物を探しもとめなければならない。」と言った。	
	2	略	
問二	略		
問三	(一)	たちまち、少しの間 など	
	(二)	略	
問四	略		

「国語」

- (1) 問題用紙13枚中 11枚目 本文1行目（ルビの修正）
（誤）江夏^{こうか} ← （正）江夏^{かうか}
- (2) 問題用紙13枚中 11枚目 本文1行目（ルビの修正）
（誤）郭^{かく} ← （正）郭^{くわく}
- (3) 問題用紙13枚中 11枚目 本文5行目（ルビの修正）
（誤）汝^{なんじ} ← （正）汝^{なんぢ}
- (4) 問題用紙13枚中 11枚目 本文11行目（送り仮名の修正）
（誤）飢^エ ← （正）飢^エ
- (5) 問題用紙13枚中 11枚目 本文14、15行目（漢字の修正）
（誤）逐^エ ← （正）遂^エ

令和六年度入学試験問題

国語

注意事項

1. この問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 受験番号を解答用紙の指定されたところへ正しく記入すること。
3. 問題用紙と解答用紙は別になっている。解答は解答用紙の指定されたところに記入すること。
それ以外の場所に記入された解答は、採点の対象にならない。
4. ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、監督者に申し出ること。
5. 問題用紙の余白等は適宜利用してよいが、破いたり切り離したりしないこと。
6. この問題用紙は持ち帰ること。

前期日程
国語
問題用紙13枚中 1枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

一 次の問いに答えなさい（解答は所定の解答欄に記入すること）。

問一 次に挙げる傍線部の漢字のよみがなをひらがなで記しなさい。

- 1 有象無象の集団にならないよう気をつける
- 2 謹んで申し上げます
- 3 突拍子もない質問をする
- 4 クラス一丸となる
- 5 オレンジを搾る

問二 次の【会議記録（案）】（パソコンで入力した文書）には、誤変換のため、漢字表記が文脈上明らかに間違っている箇所がある。正しい漢字をそれぞれ楷書で書きなさい（熟語の場合は熟語全体を書くこと）。

【会議記録（案）】 第7回 文化祭実行委員会
2023年5月26日（金）
午後3:30～4:30
生徒会室

1. 本年度の全校企画について

◎「空き缶アート巨大壁画」

- デザイン : 公募
- 公開場所 : 中庭
- 各クラスへの以来内容 :
クラスの人数に基づいて割り当てる空き缶に
委員会が連絡する色をブラシで縫って提出する
- 空き缶の活用方法 : リサイクルに出す
収益は社会副詞団体に寄付する
- 作業工程と用具の確認 : 飼料参照

→承認

2. 文化祭準備に関わる下校時間園長の届けについて

各クラスの委員がまとめて前の週の木曜日午後5時までに提出

→承認

記録 : 3年1組 千田洋子

前 期 日 程
国 語
問題用紙13枚中 2枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい（解答は所定の解答欄に記入すること）。

--

前 期 日 程
国 語
問題用紙13枚中 3枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

（暉峻淑子『社会人の生き方』岩波新書、二〇一二年、一〇〇～一〇三頁より。
なお、一部記述を変更して出題している）

注

※ライフワークバランス…仕事と生活の調和。
※男女雇用機会均等法…一九八六年施行。職場での男女平等を確保し、女性が差別を受けずに、家庭と仕事が両立できるように作られた法律。

前期日程
国語
問題用紙13枚中 4枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 傍線部①「言語と同様に、労働はいつも社会的なつながりとともにあった。」とあるが、「労働」について論じる上で筆者が「言語」を引き合いに出しているのはなぜか。そのねらいを簡潔に説明しなさい。

問二 傍線部②「示唆」、傍線部④「苦役」の辞書的な意味を簡潔に述べなさい。

問三 傍線部③「公教育が家庭の中で行われる私教育よりもいい効果を上げること似ている」とあるが、「公教育」はどのような点で「手工業の初期」の労働と「似ている」のか。「私教育」と対比しながら簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部⑤「社会人としての生きがいを求めていることではなかったか」とあるが、ここで筆者が言いたいのはどのようなことか。本文の内容を踏まえて簡潔に説明しなさい。

問五 二重傍線部「人間の社会性」とはどのような性質を言うのか。本文全体の内容をふまえて簡潔に説明しなさい。

前期日程
国語
問題用紙13枚中 5枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい（解答は所定の解答欄に記入すること）。

前 期 日 程	国 語	問題用紙13枚中 6枚目
------------------	--------	-----------------

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

--

前期日程
国語
問題用紙13枚中 7枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

(太宰治「角力」、鬼塚りつ子編『心に残るロングセラー 太宰治 名作集』世界文化社、二〇一五年、四四―四九頁。なお、本文は一部表記等を変更している)

注

※戯謔…たわむれおどけること。

※層々…いくえにも。

※トンキョウ…頓狂^{とんきやう}。調子はずれの言動をするさま。

※赤恥…ひどい恥ずかしさ。

前期日程
国語
問題用紙13枚中 8枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 傍線部①「淋しき」とあるが、これは「誠二」のどのような気持ちか。本文の内容を踏まえて具体的に説明しなさい。

問二 傍線部②「アア僕の兄に自分が負けたら……誠二は自分より強い兄を要求する心から兄より弱い自分を要求する心に変わって行っただのは無理もないことである。」とあるが、ここでは「誠二」の気持ちは誰によって述べられているか。「登場人物」および「書き手」という言葉をどちらも用いつつ、どの箇所を誰が述べているかが分かるように簡潔に説明しなさい。

問三 囲み線部A、B「何気なく」とあるが、これらの言葉の意味はどう違うか。本文の文脈を踏まえて簡潔に説明しなさい。

問四 傍線部③「どんより曇った灰色の空は低く大地を包んでいた。風もなかった。」とあるが、この情景と対峙していると考えられる「誠二」の感情を、本文の内容を踏まえつつ具体的に説明しなさい。

問五 この物語において、「誠二」が「兄」に負けようとしたねらいと、負けたことで生じた結果について、本文全体を踏まえて具体的に説明しなさい。

前	期	日	程
国語			
問題用紙	13枚中	9枚目	

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい（解答は所定の解答欄に記入すること）。

『徒然草』第十九段より、佐竹昭広・久保田淳校注『新 日本古典文学大系 39 方丈記 徒然草』

岩波書店、一九八九年、九五～九六頁。なお、本文は一部表記等を変更している。

注

※灌仏…四月八日の釈尊降誕日に、その像に香水を灌ぐ行事。

※祭り…賀茂祭。四月の中の酉の日に行われた。

※早苗…苗代から田へ植えかえる頃の稲の苗のこと。

※水鶏…水鳥の一種。鳴き声が戸を叩く音に似る。

※蚊遣火…蓬の葉、杉や松の青葉などを火にくべて、燻^{いぶ}した煙で蚊を追い払うために熾^{おこ}された火や煙のこと。

※六月祓…夏越祓。六月晦日に罪や穢^{けが}れを除くため川原などで行う神事。

前	期	日	程
国語			
問題用紙	13枚中	10枚目	

令和六年度信州大学教育学部入学選抜試験

問一 段落Aの春の描写の仕方には、どのような特徴があるか。根拠となる具体的な描写を二箇所以上引用して説明しなさい。

問二 二重傍線部について、このような筆者の主張は、段落Bでは、どのように描かれているか。根拠となる具体的な描写を二箇所以上引用して説明しなさい。

問三 この章段全体では、囲み線部で示したように係助詞「こそ」が多用される傾向がみられる。このように「こそ」を多用する理由として最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選び番号で答えなさい。

- ① 「こそ」を用いることで筆者が読み手に語りかけるような口吻となり、これは和歌や歌物語に多用される傾向にあるから。
- ② 「こそ」を用いることで筆者の考えや判断を強調することになり、これは日記や随筆に多用される傾向にあるから。
- ③ 「こそ」を用いることで筆者が見聞した出来事を明示的に示すことになり、これは軍記物語に多用される傾向にあるから。
- ④ 「こそ」を用いることで筆者が使う特徴的な表現を強調することになり、これは伝奇物語に多用される傾向にあるから。
- ⑤ 「こそ」を用いることで筆者が唱える事柄の順序の重要性を示すことになり、これは和漢混淆文に多用される傾向にあるから。

問四 傍線部①「人ごとに言ふめれ」と傍線部②「人の仰せられし」とについて、以下の設問に答えなさい。

- (一) 傍線部の文法的な表現の違いをわかりやすく説明しなさい。
- (二) このように類似した表現を用いて直接引用していることには、筆者のどのような考えが表れていると考えられるか。あなたの考えを述べなさい。

問五 波線部のように、段落A・Bには「恋しう」「恋しさ」が用いられている。このような表現が用いられていることと、二重傍線部の筆者の主張とは、どのように関わるか、あなたの考えを述べなさい。

前 期 日 程		
国 語		
問題用紙13枚中	11枚目	

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

五 次の文章は六朝時代の小説集『せいがいき齊諧記』に収録されている、郭坦の息子がある病になる物語である。これを読んで、あとの問いに答えなさい（解答は所定の解答欄に記入すること）。

前期日程	
国語	
問題用紙13枚中	12枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

(周光培編『歴代筆記小説集成 漢魏筆記小説 全一冊』河北教育出版社、一九九四年、八一四頁。

なお、本文は一部表記等を変更している。)

注

※江夏郡安陸県：中国の地名。今の湖北省安陸県付近。

※隆安：晋（東晋）代の元号。三九七～四〇一年。

※斛：一斛は一八〇リットル。

※罄貧：貧乏。

※覓：探しもとめる。

※簋飯：ざる一杯の飯。

※畦：うねを数える単位。

※大蒜：んにく。

※噉：食う。

※撮：手でつかむ。

※内：取る。

※著：載せる。

※差：治る。

前期日程	
国語	
問題用紙13枚中	13枚目

令和六年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問一 傍線部①について、以下の小問に答えなさい。

(一) 誰が誰に言っているのかわかるように現代語訳しなさい。

(二) なぜこのように説いたのか、本文を踏まえて理由を説明しなさい。

問二 傍線部Aが傍線部Bのように変化したきっかけを、本文の内容を踏まえて説明しなさい。

問三 囲み線部について、以下の小問に答えなさい。

(一) 「須臾」の意味を書きなさい。

(二) この文章の終末部に、「須臾」をはじめとした囲み線部のような表現が複数用いられている理由を説明しなさい。

問四 この物語において、作品舞台や登場人物が冒頭部で具体的に書かれていることの効果について説明しなさい。